

資料編

市民まちづくりアンケート結果概要

1 調査概要

(1) 調査目的

総合計画を策定するにあたり、第8次総合計画の各施策に対する重要度や満足度などを把握し、策定の参考にするため実施しました。

(2) 調査対象

【市民】2021（R3）年7月31日時点の住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民2,000人

【企業】2020（R2）年度法人市民税申告業者から無作為抽出した10名以上の従業員を持つ市内企業60社

【団体】2021（R3）年8月20日時点の市民活動サポートセンター登録団体67団体

(3) 調査方法

郵送による配布、回収

(4) 調査実施期間

【市民】2021（R3）年8月26日～9月15日

【企業】【団体】2021（R3）年8月24日～9月10日

(5) 回収結果

	市民	企業	団体
配布数	2,000	60	67
回収数 (回収率)	690 (34.5%)	38 (63.3%)	45 (67.2%)

(6) 設問内容

ア 第8次総合計画の26施策毎の重要度、満足度を何う設問

イ まちづくり推進のために力を注ぐべき項目を何う設問

ウ 須賀川市が住みよいまちだと思いかを何う設問

エ 今後も須賀川市に住み続けたいかを何う設問

2 回答者属性【市民】

(1) 性別

性別	男性	女性	無回答	合計
回答数	286	383	21	690
%	41.4%	55.5%	3.0%	100%

(2) 年齢

年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答	合計
回答数	5	50	80	110	135	76	98	71	47	18	690
%	0.7%	7.2%	11.6%	15.9%	19.6%	11.0%	14.2%	10.3%	6.8%	2.6%	100%

(3) 職業

職業	農林水産業	自営業	会社役員・団体役員	自由業	会社員・団体職員	公務員・教員	パート・アルバイト	専業主事	学生	無職	その他	無回答	合計
回答数	35	44	24	2	197	41	98	66	11	131	17	24	690
%	5.1%	6.4%	3.5%	0.3%	28.6%	5.9%	14.2%	9.6%	1.6%	19.0%	2.5%	3.5%	100%

(4) 通勤・通学先

通勤・通学先	市内	市外（県内）	市外（県外）	無回答	合計
回答数	243	166	10	74	493
%	49.3%	33.7%	2.0%	15.0%	100%

(5) 居住地域

居住地域	須賀川	浜田	西袋	稲田	小塩江	仁井田	大東	長沼	岩瀬	無回答	合計
回答数	346	19	83	31	26	47	30	46	44	18	690
%	50.1%	2.8%	12.0%	4.5%	3.8%	6.8%	4.3%	6.7%	6.4%	2.6%	100%

(6) 居住年数

居住年数	1年未満	1年～9年	10年～29年	30年以上	無回答	合計
回答数	4	67	221	381	17	690
%	0.6%	9.7%	32.0%	55.2%	2.5%	100.0%

(7) 家族構成

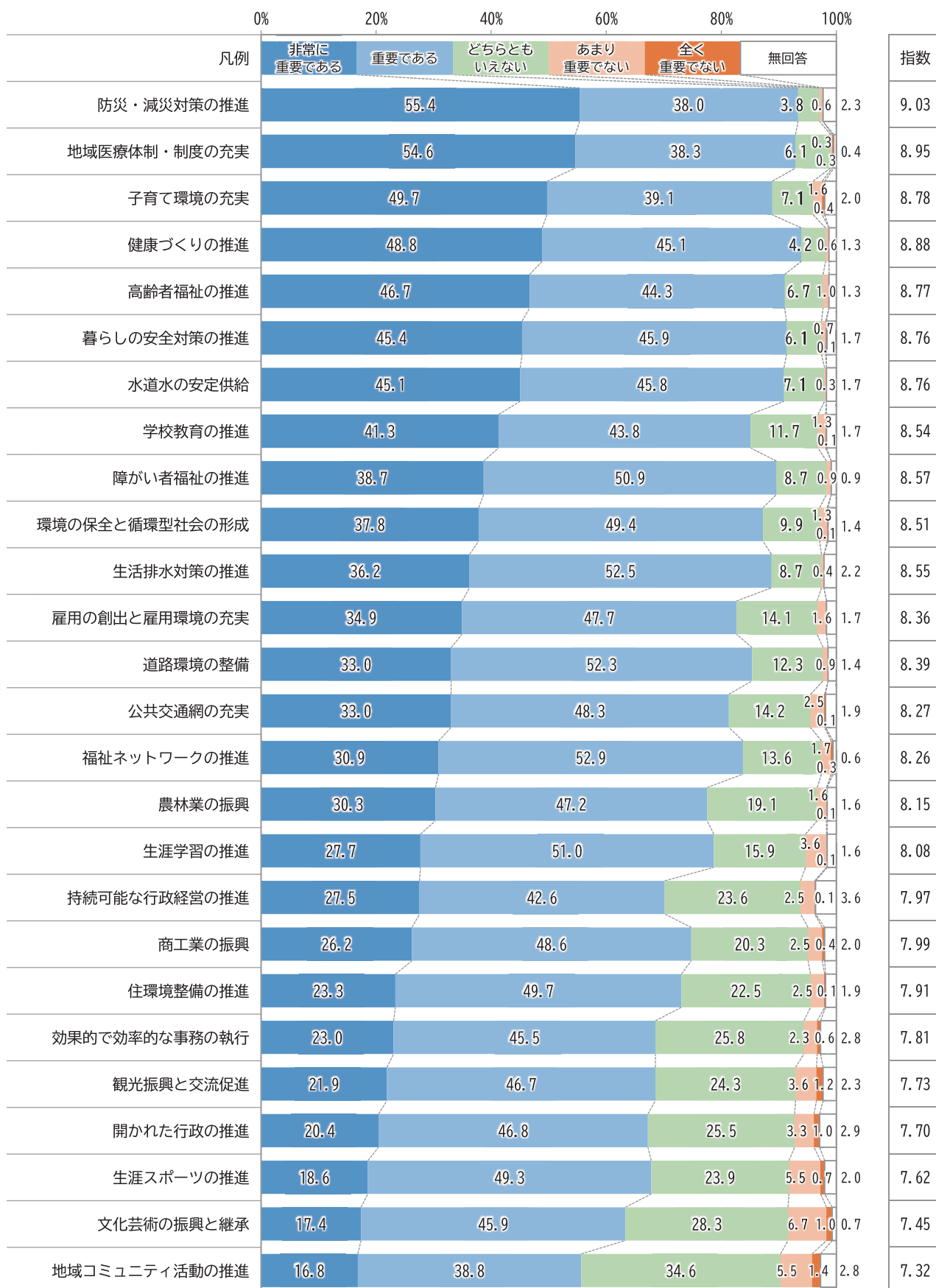
家族構成	単身世帯	夫婦のみの世帯	2世代（親・子）の世帯	3世代（親・子・孫）の世帯	その他	無回答	合計
回答数	56	168	329	108	11	18	690
%	8.1%	24.3%	47.7%	15.7%	1.6%	2.6%	100.0%

3 指数計算

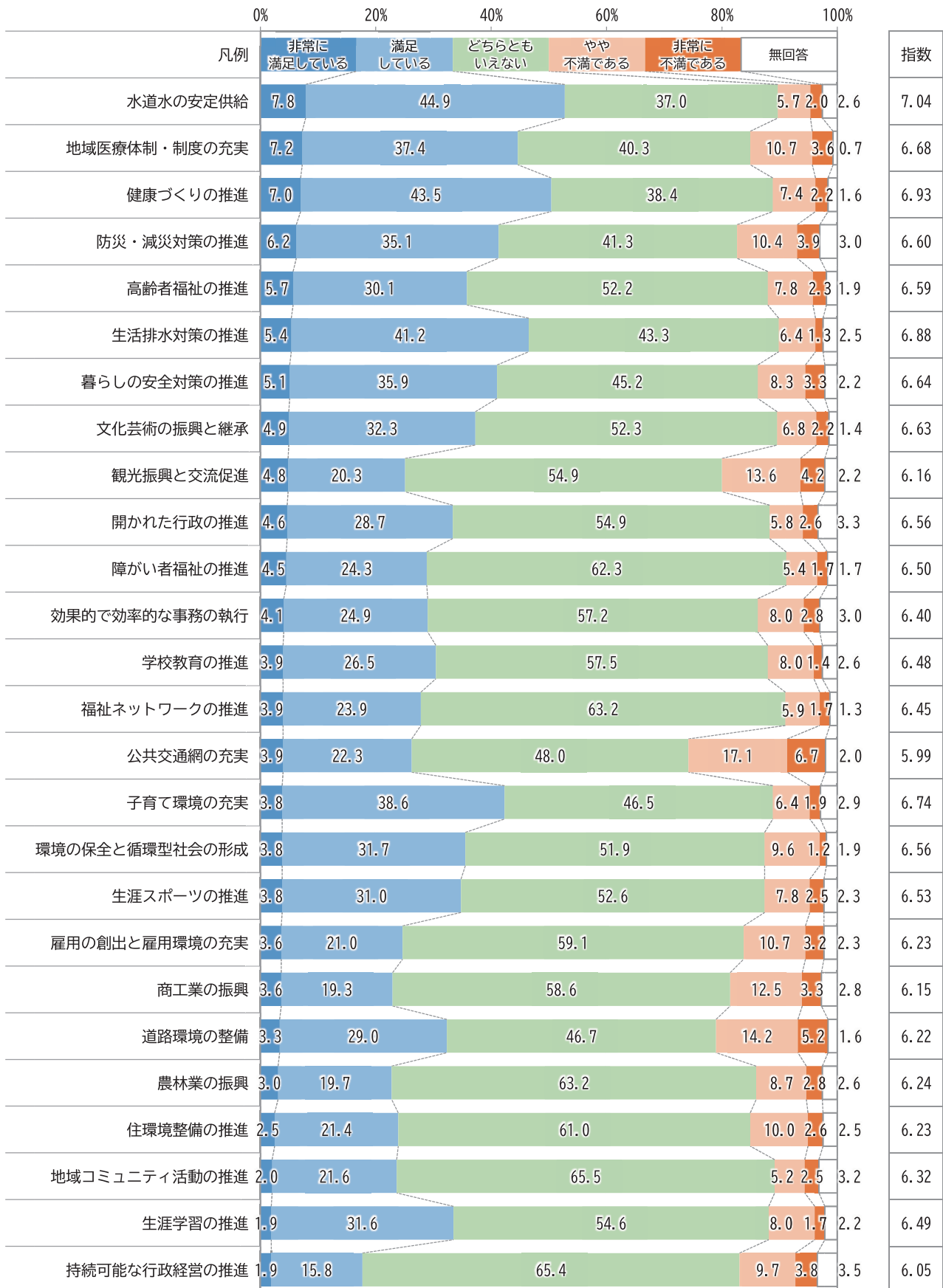
「非常に重要である、非常に満足している」、「重要である、満足している」、「どちらともいえない」、「あまり重要でない、やや不満である」、「全く重要でない、非常に不満である」をそれぞれ10点、8点、6点、4点、2点で配点し、算出をしました。最大は10.00、最小は2.00、中間は6.00となります。

4 結果概要

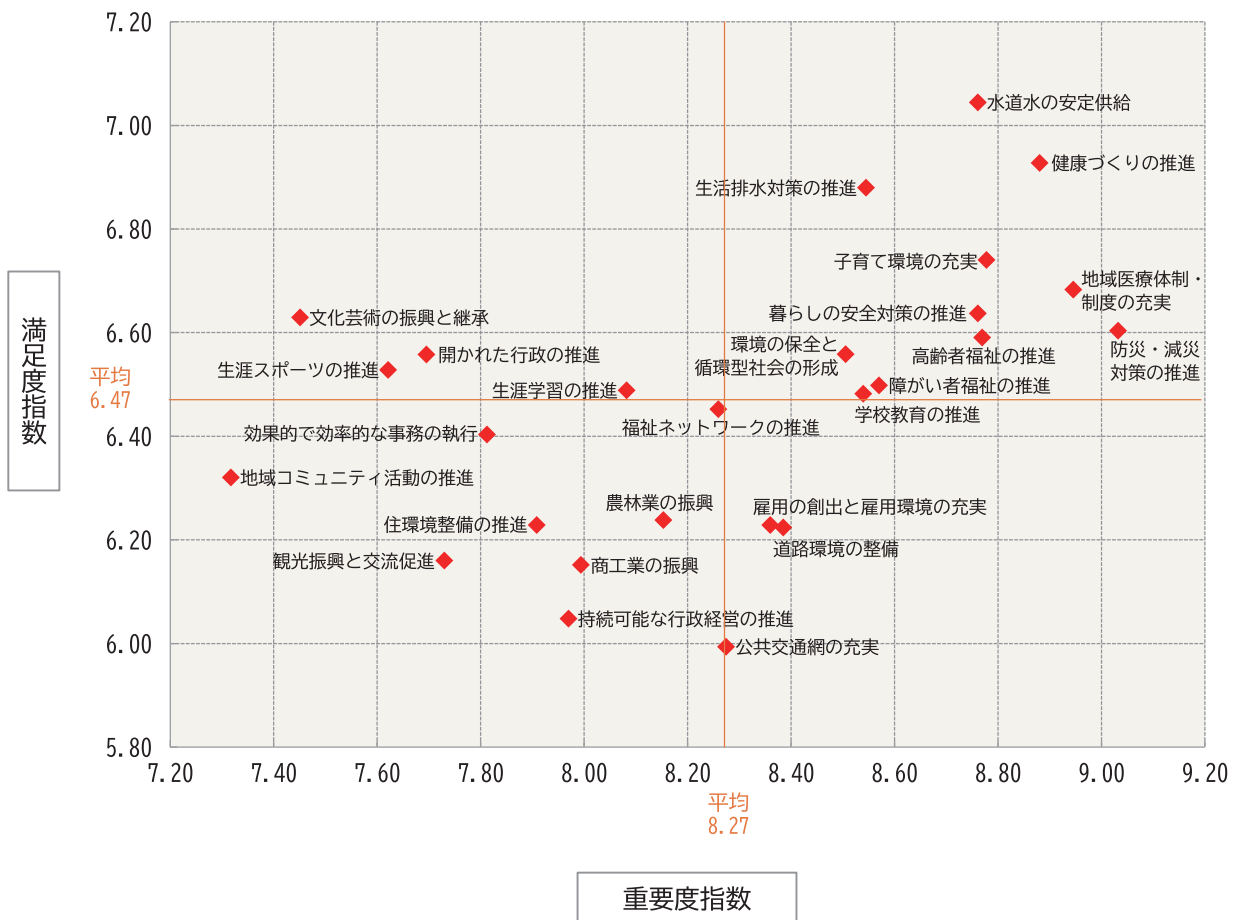
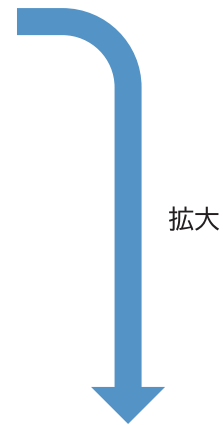
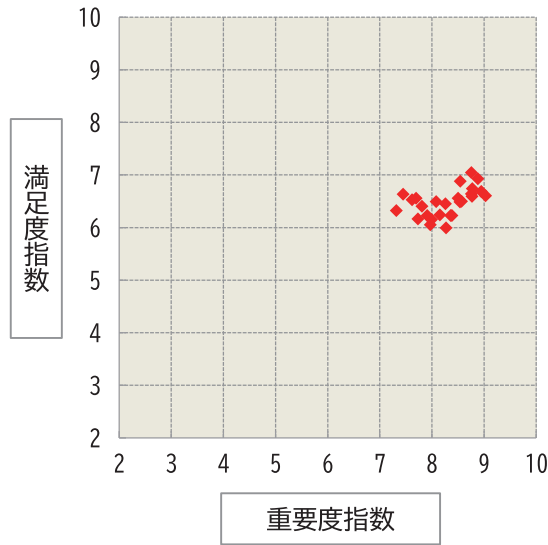
(1) 第8次総合計画の26施策の重要度【市民】



(2) 第8次総合計画の26施策の満足度【市民】



(3) 重要度と満足度の関係【市民】



(4) 第8次総合計画の26施策の重要度、満足度の上位、下位

【市民】※再掲

施策別重要度		施策別満足度	
施策名	重要度	施策名	満足度
防災・減災対策の推進	9.03	水道水の安定供給	7.04
地域医療体制・制度の充実	8.95	健康づくりの推進	6.93
健康づくりの推進	8.88	生活排水対策の推進	6.88
⋮		⋮	
生涯スポーツの推進	7.62	商工業の振興	6.15
文化芸術の振興と継承	7.45	持続可能な行政経営の推進	6.05
地域コミュニティ活動の推進	7.32	公共交通網の充実	5.99

【企業】

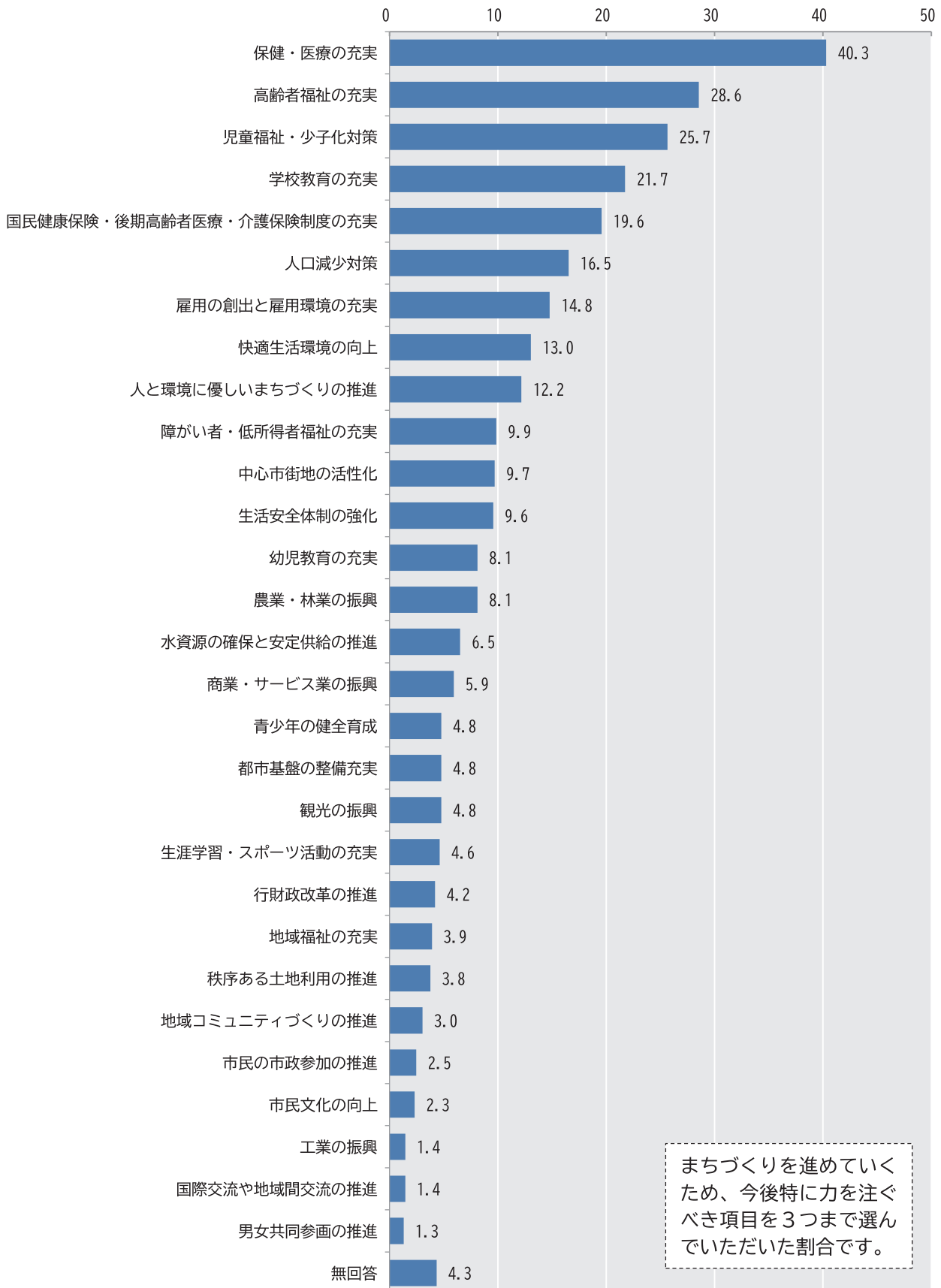
施策別重要度		施策別満足度	
施策名	重要度	施策名	満足度
防災・減災対策の推進	9.24	文化芸術の振興と継承	6.84
子育て環境の充実	9.11	水道水の安定供給	6.74
暮らしの安全対策の推進	9.05	子育て環境の充実	6.68
水道水の安定供給	9.05	健康づくりの推進	6.68
⋮		⋮	
文化芸術の振興と継承	7.63	公共交通網の充実	5.89
開かれた行政の推進	7.63	農林業の振興	5.84
地域コミュニティ活動の推進	7.16	観光振興と交流促進	5.79

【団体】

施策別重要度		施策別満足度	
施策名	重要度	施策名	満足度
子育て環境の充実	9.32	水道水の安定供給	7.32
防災・減災対策の推進	9.30	地域コミュニティ活動の推進	7.18
学校教育の推進	9.05	生活排水対策の推進	7.14
⋮		⋮	
文化芸術の振興と継承	8.05	観光振興と交流促進	6.28
住環境整備の推進	8.00	商工業の振興	6.27
効果的で効率的な事務の執行	7.81	公共交通網の充実	5.95

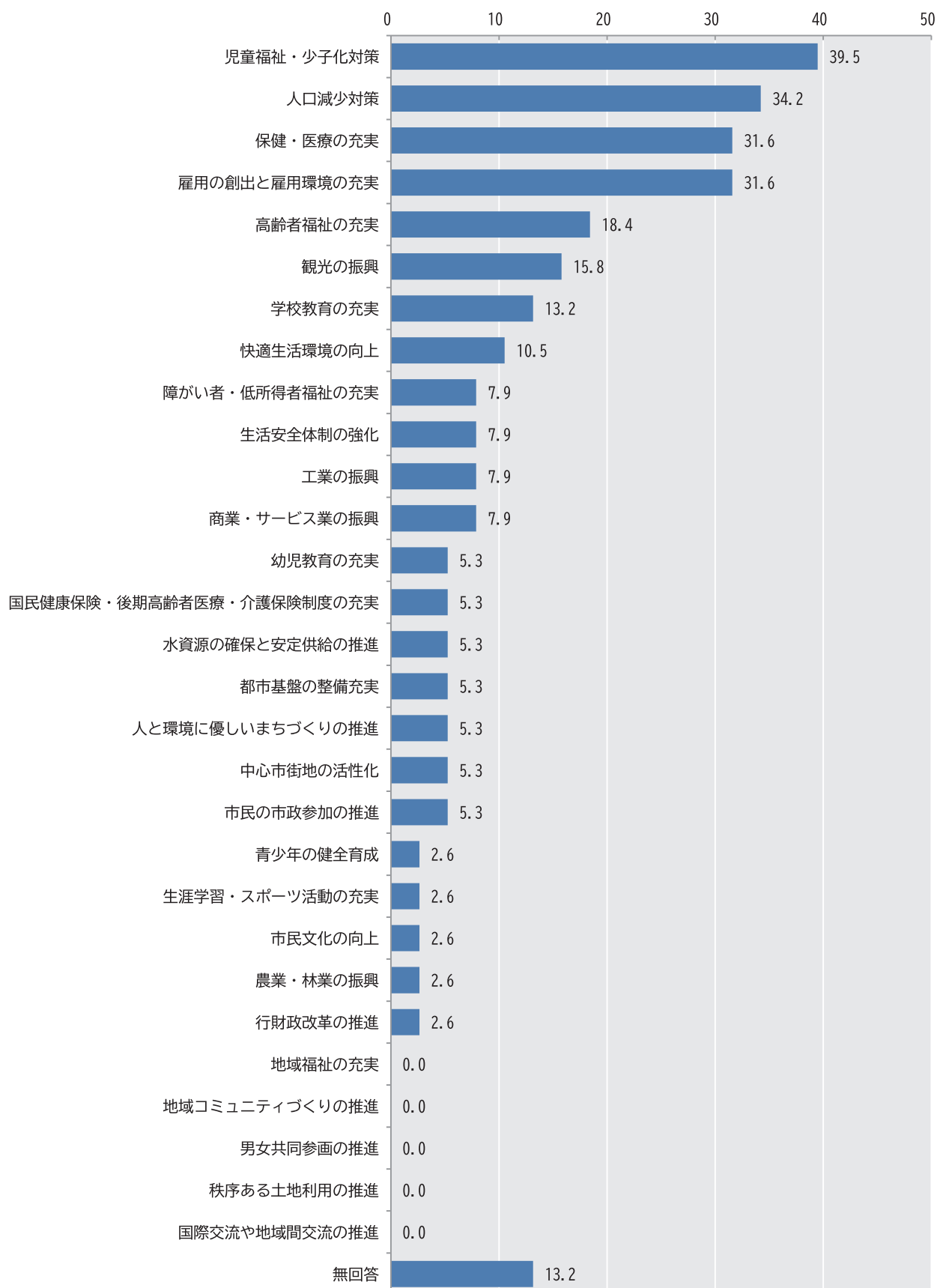
(5) まちづくりの推進のため力を注ぐべき項目【市民】

(%)



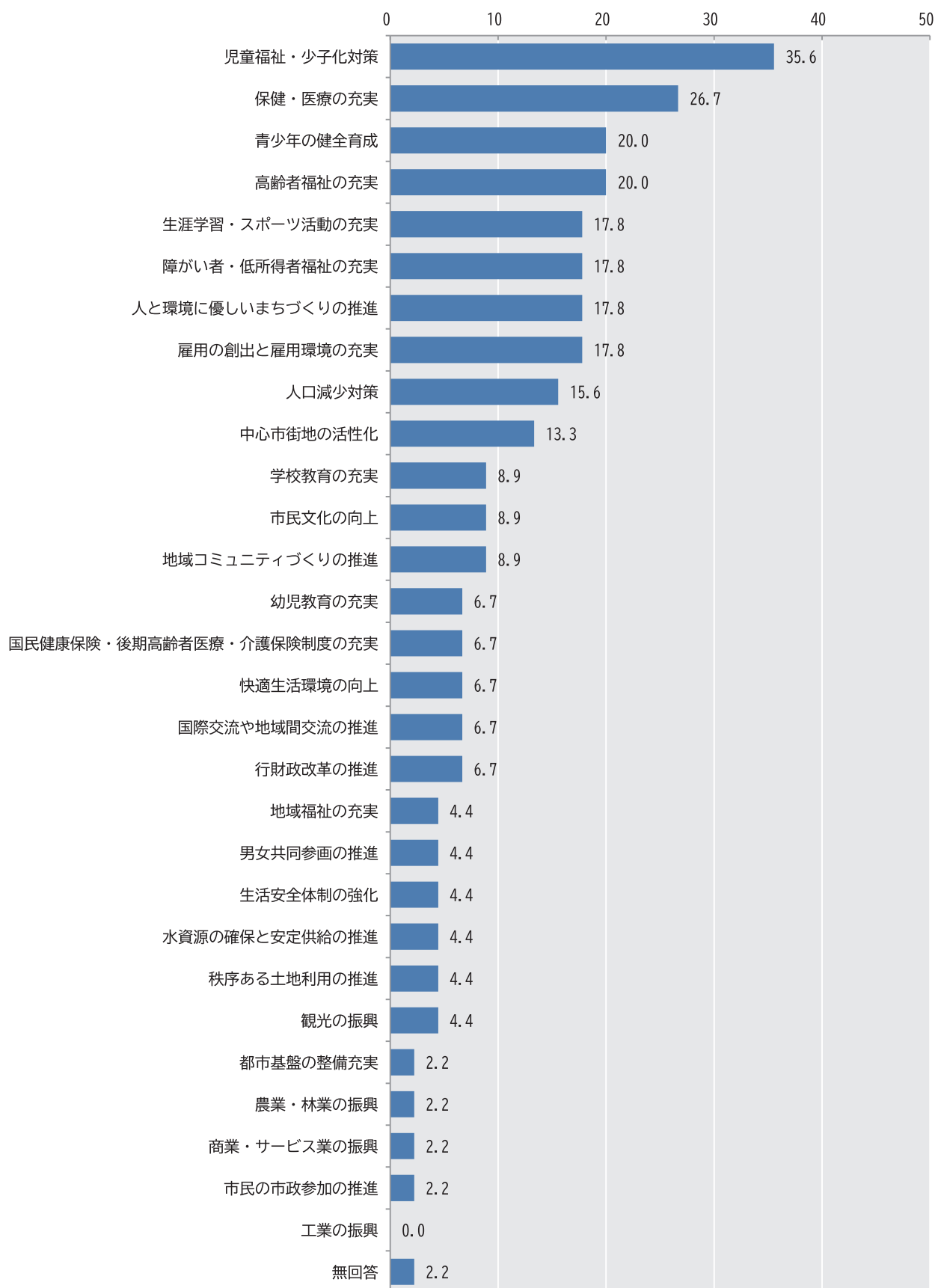
まちづくりの推進のため力を注ぐべき項目【企業】

(%)



まちづくりの推進のため力を注ぐべき項目【団体】

(%)



コラム 「わたしの 未来 ストーリー」

このストーリーは、市民ワークショップ、中学生ワークショップで出たアイデアや意見を参考に、市役所の若手職員による市内ワークショップで作成した「10年後を想像した物語」です。

65歳の定年まで勤め上げた会社を退職し、早5年。
一昔前の退職後といたら、盆栽でもいじりながら暇を持て余している勝手なイメージがあったが、なんなら在職時代より充実していると感じている。
なぜって、特撮が大好きだからだ。

今日は、予約していた地域のカーシェアリングを利用して、市民サークル「ウルトラマンを語る会」のメンバーと乗り合いで須賀川特撮アーカイブセンターに行った。

仲間が連れてきていたお孫さんが、最近のウルトラマンの話がたくさんしてくれたので、初代ウルトラマンについて教えてあげる。そして、一緒にテーマソングを歌いながら到着。

VRゴーグルで見たウルトラマンの戦闘シーンは、まるで自分がウルトラマンの世界に飛び込んだようでとても迫力があつたし、実際の撮影で使われた貴重な資料は細部まで作りこまれていて、何度見ても驚きの連続。

アナログでもデジタルでも特撮を楽しめて、大満足だった！やっぱり須賀川は特撮の聖地だなあ。

今回はわたしが車の運転当番だったので、サークルのみんなから地域通貨「ウルトラゴールドポイント」をもらった。

この地域通貨は、ボランティアや地域イベントの参

加などでもらうことができ、利用者同士で通貨の交換もできるというすぐれもの。市内のお店などで支払いに使えるのだが、貯めるのが楽しくて、ポイントがもらえるボランティアによく参加している。

帰り道、今日は町内会の会合があることを思い出した。なんでも、市で募集している「ご近所アイデア大賞」の打ち合わせをするらしい。大賞は「ウルトラゴールドポイント」10万ポイント！

そういえば、地域のカーシェアリングがもっと便利になればいいなと妻が話していたから、それを話題にしてみよう。

10万ポイントもらえたら、町内会のみんなで打ち上げに行こうかな。



須賀川市第9次総合計画策定経過

年月日	実施事項	内容
2021 (R3) 年 5月14日	市政経営会議	計画策定の方針などの審議
6月30日	総合計画策定に係る庁内研修会	策定に向けた庁内研修会の実施 計2回の開催、76名の参加
8月6日	第1回須賀川市まちづくり推進会議	策定の考え方、スケジュールなどの説明
8月26日 ～9月15日	市民まちづくりアンケート	市民・企業・団体を対象とした第8次総合計画の各施策に対する満足度・重要度などの調査
10月11日	総合計画策定に係る庁内説明会	策定方針、進め方、スケジュールなどの説明
10月27日	第2回須賀川市まちづくり推進会議	人口推移、市民まちづくりアンケート結果などの説明
11月1日 ～11月2日	政策体系検討会議	政策・施策内容の検討 2日間、計6回の開催
11月11日	市政経営会議	政策体系検討会議結果、政策体系、スケジュールなどの審議
11月15日	政策施策成果設定に係る庁内説明会	政策・施策の目的と成果指標の設定手順などの説明
11月18日	市政経営会議	政策体系などの審議
12月10日	市議会総務常任委員会	市民まちづくりアンケート結果の説明
12月15日	第1回庁内ワークショップ	すかがわストーリー／マップ【ひと・まち】作成 職員35名の参加
12月17日 ～12月24日	政策施策成果検討会議	政策・施策の目的と成果指標の検討 4日間、計14回の開催
12月23日	市政経営会議	政策体系などの審議
12月26日	第1回市民ワークショップ	すかがわストーリー／マップづくり 高校生18名を含む28名の参加
12月27日	中学生ワークショップ	すかがわ近未来カレンダーづくり 中学生19名の参加
2022 (R4) 年 1月7日	市政経営会議	構成、政策体系などの審議
1月17日	市議会総務常任委員会	策定の考え方、構成、体系などの説明
1月17日	第2回庁内ワークショップ	すかがわストーリー／マップ【しごと・くらし】作成 職員35名の参加
1月27日	第1回須賀川市総合計画策定審議会	諮問、策定の考え方、構成、体系などの審議
2月1日	第3回庁内ワークショップ	ペルソナと10年後の未来ストーリー作成 職員34名の参加

2月14日	第4回庁内ワークショップ	将来都市像案作成 職員35名の参加
2月21日 ~3月3日	第2回市民ワークショップ	すかがわ近未来カレンダーづくり 16名の参加 ※新型コロナウイルス感染症の影響により在宅実施
3月1日 ~3月8日	将来都市像案の職員投票	将来都市像案に対する市役所全職員対象の投票の実施
3月17日	市政経営会議	人口推計、政策体系、将来都市像などの審議
5月10日	市議会総務常任委員会	人口推計、将来都市像、地域懇談会の報告
5月18日	第2回須賀川市総合計画策定審議会	人口推計、将来都市像の審議
5月24日 ~6月13日	地域懇談会	テーマ「10年後の須賀川市の姿、この地域の姿」 市内9地域で開催 計163名の参加
6月17日	市議会総務常任委員会	地域懇談会途中経過の報告
6月30日	市政経営会議	地域懇談会実施結果、計画素案の審議
7月7日	市政経営会議	計画素案の審議
7月21日	市議会総務常任委員会	地域懇談会実施結果の報告
7月22日	第3回須賀川市総合計画策定審議会	地域懇談会実施結果、計画素案の審議
8月25日	市政経営会議	計画素案などの審議
9月1日 ~9月20日	パブリックコメント	計画素案への意見募集
9月8日	市議会議員全員協議会	計画素案の説明
10月5日	第4回須賀川市総合計画策定審議会	パブリックコメントなどの意見の報告、計画案の審議、答申
10月31日	市議会総務常任委員会	パブリックコメント実施結果の報告
12月16日	市議会総務常任委員会	議案の審議
12月22日	12月市議会定例会	議案の議決

※市政経営会議：市政経営の基本方針及び重要施策を審議するとともに、市政経営の観点から迅速かつ戦略的な方針を協議する会議

第9次総合計画策定に係る庁内ワークショップ実施概要

この計画の策定にあたっては、市役所の若手職員などを中心とした庁内ワークショップを計4回実施しました。市民ワークショップ、中学生ワークショップのアイデアや意見を計画に反映させるとともに、この計画を自分事として感じてもらうためのきっかけづくりなどの検討を行いました。

第1回庁内ワークショップ

【開催日】2021（R3）年12月15日（水）

【場 所】須賀川市役所4階 大会議室

【参加者】35名

【内 容】

「10年後の未来」のイメージを作成するため、須賀川の「ひと・まち」をテーマに、「すかがわストーリー／マップ」づくりを行いました。

成果品は市民ワークショップや中学生ワークショップにおいて活用しました。

第2回庁内ワークショップ

【開催日】2022（R4）年1月17日（月）

【場 所】須賀川市役所4階 大会議室

【参加者】35名

【内 容】

「10年後の未来」のイメージを作成するため、須賀川の「くらし・しごと」をテーマに、「すかがわストーリー／マップ」づくりを行いました。

第3回庁内ワークショップ

【開催日】2022（R4）年2月1日（火）

【場 所】須賀川市役所4階 大会議室

【参加者】34名

【内 容】

市民ワークショップ、中学生ワークショップのアイデアや意見、第1回・第2回庁内ワークショップで作成した「すかがわストーリー／マップ」などを活用して「ペルソナと10年後の未来ストーリー」を作成しました。

そのうち5作品について、この計画がより多くの人に読まれ、身近に感じてもらえるきっかけとなるよう、コラム「わたしの未来ストーリー」として、掲載しています。

第4回庁内ワークショップ

【開催日】2022（R4）年2月14日（月）

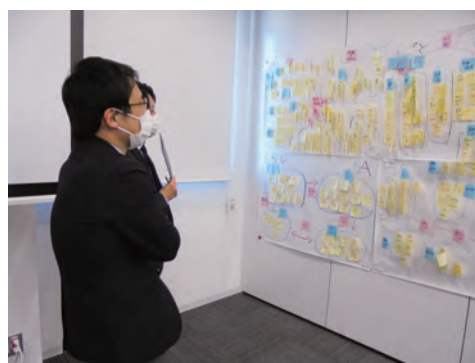
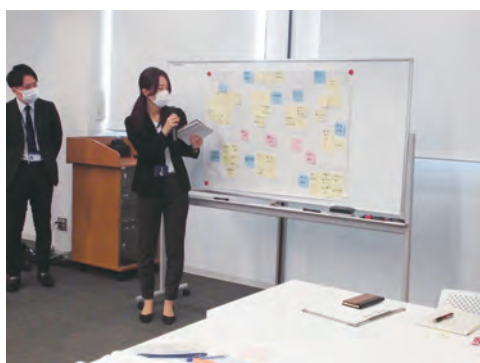
【場 所】須賀川市役所4階 大会議室

【参加者】35名

【内 容】

市民ワークショップ・中学生ワークショップのアイデアや意見、第1回・第2回庁内ワークショップで作成した「すかがわストーリー／マップ」などを活用し、「将来都市像」案を作成しました。

その後、市役所全職員を対象に実施した職員投票の結果を踏まえ、この計画における将来都市像「共につくる 住み続けたいまち すかがわ」を決定しました。



須賀川市総合計画策定条例（平成29年3月23日条例第1号）抜粋

（趣旨）

第1条 この条例は、総合的かつ計画的な市政経営を行うため、本市の総合計画の策定に関し必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- （1）総合計画 将来における本市のあるべき姿と進むべき方向についてのまちづくりの基本的な指針であり、市政経営の基本方針として市長が定めるものをいう。
- （2）基本計画 本市の将来目標及び目標達成のための基本方針を明らかにするとともに、各部門の現況と課題を掲げ、主要施策の方向及び体系を示すものをいう。
- （3）実施計画 市政経営の具体的な計画であり、基本計画における施策を実現するために実施する事業を示すものをいう。

（総合計画の策定）

第3条 市長は、総合的かつ計画的な市政経営を行うため、総合計画を策定するものとする。

2 総合計画は、基本計画及び実施計画で構成する。

（位置付け）

第4条 総合計画は、市の最上位の計画と位置付ける。

2 個別の行政分野に関する計画の策定又は変更に当たっては、総合計画との整合を図るものとする。

（審議会の設置）

第5条 地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定により、基本計画に関し必要な事項の審議を行うため、須賀川市総合計画策定審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

2 審議会は、委員25人以内で組織し、次に掲げる者のうちから必要の都度、市長が委嘱する。

- （1）学識経験者
- （2）市内の公共的団体等の代表者
- （3）前2号に掲げる者のほか、市内に住所を有する者

3 委員の任期は、委嘱の日から審議会が次条第1項の諮問に対して最終的な答申を行う日までとする。

4 前3項に定めるもののほか、審議会の組織及び運営に関し必要な事項は市長が別に定める。

（審議会への諮問）

第6条 市長は、基本計画を策定しようとするときは、あらかじめ、前条に規定する審議会に諮問するものとする。

2 審議会は、諮問された内容について審議を行い、その意見を市長に答申するものとする。

(議会の議決)

第7条 市長は、前条に規定する手続を経て、基本計画を策定しようとするときは、地方自治法第96条第2項の規定により、基本計画のうち本市の将来目標及び目標達成のための基本方針について議会の議決を経るものとする。

(総合計画の公表)

第8条 市長は、総合計画を策定したときは、速やかにこれを公表するものとする。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は市長が別に定める。

須賀川市総合計画策定審議会委員名簿

任期：2022（R4）年1月27日～10月5日

【敬称略】

役職名	氏名	備考
福島大学共生システム理工学類教授	川崎 興太	会長
社会福祉法人須賀川市社会福祉協議会会長	石井 正廣	副会長
須賀川商工会議所会頭	渡邊 達雄	副会長
夢みなみ農業協同組合すかがわ営農センター長	遠藤 稔	
須賀川地区連合事務局長	富樫 賢太郎	
須賀川市文化団体連絡協議会会長	杉岡 一郎	
須賀川市体育協会会長	安藤 喜勝	
岩瀬地区小・中学校長協議会会長	永瀬 功一	2022（R4）年3月31日まで
〃	八木沼 孝夫	2022（R4）年4月1日から
須賀川市女性団体連絡協議会会長	松井 香保利	
須賀川市明るいまちづくりの会連絡協議会会長	須田 智博	
公益社団法人須賀川青年会議所理事長	阿部 貞治	
公募委員	鈴木 孝英	
公募委員	池浦 清一	
公募委員	安田 吉充	
公募委員	安藤 正博	
公募委員	高橋 夏子	
公募委員	佐藤 吉二	

諮問書

3 企 第 176 号
令和4年 1月27日

須賀川市総合計画策定審議会会長 様

須賀川市長 橋本 克也

須賀川市第9次総合計画について（諮問）

須賀川市第9次総合計画を策定したいので、基本計画について貴審議会の意見を求めます。

答申書

令和4年10月5日

須賀川市長 橋本 克也 様

須賀川市総合計画策定審議会
会長 川崎 興太

須賀川市第9次総合計画について（答申）

令和4年1月27日付け3企第176号で諮問ありました市第9次総合計画の基本計画（案）について、慎重に審議を重ねた結果、適当と認め、須賀川市総合計画策定条例第6条第2項の規定に基づき答申します。

なお、計画の推進にあたっては、下記の点について、特に配慮されるよう要望します。

記

- 1 市が目指す将来の姿を、まちづくりの主体である市民と共有し、「共につくる 住み続けたいまち すかがわ」の実現に努めること。
- 2 市民、地域、事業者、行政、そして本市に関わるすべての人が支え合いながら、協働による本計画の推進に努めること。
- 3 近年頻発する大規模災害や新型コロナウイルス感染症などの様々なリスクにしっかりと対応しつつ、持続可能なまちづくりの推進に努めること。

須賀川市総合計画の推移

須賀川市総合計画	須賀川市第二次総合計画	須賀川市新総合計画
<p>1971 (S46) 年 3 月議決 目標年次 1985 (S60) 年 計画人口 9 万人 将来都市像 「公害のないあかるく豊かな近代田園都市」</p>	<p>1981 (S56) 年 3 月議決 目標年次 1990 (H2) 年 計画人口 6 万 6 千人 基本理念 ・人間尊重 ・市民生活の優先 将来都市像 「人間味あふれる明るい豊かな近代都市」</p>	<p>1986 (S61) 年 3 月議決 目標年次 1997 (H7) 年 計画人口 8 万人 基本理念 ・人間尊重 ・市民生活の優先 将来都市像 「花と緑の臨空都市すかがわ」</p>
<p>1 基礎的條件の整備に関する事項 (1) 土地利用 (2) 水利用 (3) 交通通信 (4) 防災対策</p> <p>2 社会的開発に関する事項 (1) 社会福祉 (2) 保健衛生 (3) 生活環境 (4) 教育文化</p> <p>3 産業の振興に関する事項 (1) 農林業 (2) 商工業 (3) 観光</p> <p>4 行財政の合理化に関する事項</p>	<p>1 都市基盤の整備 (1) 土地利用 (2) 水利用</p> <p>2 生活環境の整備 (1) 交通 (2) 土地区画整理 (3) 住宅 (4) 公園・緑地 (5) 上・下水道 (6) 都市衛生 (7) 消防・防災・防犯</p> <p>3 社会福祉の充実 (1) 社会福祉 ①老人福祉 ②心身障害者福祉 ③児童福祉 ④母子福祉 ⑤低所得者福祉 (2) 保健・医療</p> <p>4 教育文化の向上 (1) 学校教育 ①幼児教育 ②義務教育 ③高校・大学教育 (2) 社会教育 (3) 芸術・文化 (4) スポーツ・レクリエーション</p> <p>5 産業の振興 (1) 農林業 (2) 商業 (3) 工業 (4) 観光</p> <p>6 住民参加と行財政 (1) 市民自治(コミュニティ) (2) 行財政</p>	<p>1 福島空港とテクノポリス構想による総合開発 (1) 空港関連都市整備 (2) テクノポリス関連都市整備</p> <p>2 快適な生活環境の整備 (1) 交通 (2) 市街地開発 (3) 住宅 (4) 公園・緑地 (5) 上・下水道 (6) 都市衛生 (7) 消防・防災・防犯</p> <p>3 健康で豊かな暮らしを支える社会福祉の充実 (1) 社会福祉 ①老人福祉 ②障害者福祉 ③児童福祉 ④母子(父子)福祉 ⑤低所得者福祉 (2) 保健・医療</p> <p>4 人間性豊かな教育文化の向上 (1) 学校教育 ①幼児教育 ②義務教育 ③高校・大学教育 (2) 社会教育 (3) 芸術・文化 (4) スポーツ・レクリエーション</p> <p>5 活力に満ちた産業の振興 (1) 農林業 (2) 商業 (3) 工業 (4) 観光</p>

須賀川市新総合計画 2000	須賀川市総合計画 「しあわせアップ 21」
<p>1991 (H3) 年 3 月議決 目 標 市民のしあわせの実現 目標年次 2000 (H12) 年度 計画人口 10 万人 基本理念 ・人間尊重 ・市民生活の優先 将来都市像 「花と緑の臨空都市すかがわ」 －人間と自然が共生する快適空間をめざして－</p>	<p>2000 (H12) 年 12 月議決 目 標 市民のしあわせの実現 目標年次 2010 (H22) 年度 計画人口 10 万人 基本理念 ・人が主役のまちづくり (人間中心主義) ・快適なくらしができるまちづくり (生活優先主義) ・自然と調和がとれたまちづくり (環境共生主義) 将来都市像 「人と自然が輝く臨空都市すかがわ」</p>
<p>1 21 世紀に引き継ぐ都市基盤の整備 (1) 土地利用 (2) 水資源の安定確保 (3) 自然環境の保全と活用 (4) 福島空港と基盤整備 (5) 交通・運輸 (6) 道路 (7) 地域開発</p> <p>2 21 世紀に向けた快適生活環境の整備 (1) 地域づくり (2) 住宅 (3) 公園 (4) 上下水道 (5) 都市衛生 (6) 消防・救急・防災・防犯 (7) 交通安全</p> <p>3 21 世紀を支える健康と福祉社会の充実 (1) 福祉対策 ①高齢者福祉 ②障害者福祉 ③児童福祉 ④母子 (寡婦) 福祉 ⑤低所得者福祉 (2) 保健・医療対策 ①国民健康保険等 ②国民年金 ③保健予防 ④医療</p> <p>4 21 世紀を担う人間性豊かな教育文化の向上 (1) 学校教育 ①幼児教育 ②義務教育 ③高校・高等教育 (2) 生涯学習 ①社会教育 ②芸術・文化 ③文化財保護 ④社会体育</p> <p>5 21 世紀を展望した活力に満ちた産業の振興 (1) 農林業 (2) 商業 (3) 工業 (4) 観光 (5) 労政</p>	<p>1 市民参加の交流 (参加と交流ができる「よろこび」づくり) (1) 市民の市政参加の推進 (2) コミュニティづくりの推進 (3) 交流の推進 (4) 男女共同参画社会の形成 (5) 行政制度の改革推進</p> <p>2 教育文化の向上 (明日を担う人が育つ「よろこび」づくり) (1) 生涯学習の推進 (2) 青少年の健全育成 (3) 市民文化の向上</p> <p>3 保健福祉の充実 (健康でともに生きる「よろこび」づくり) (1) 福祉サービスの充実 (2) 保健・医療・社会保険サービスの充実 (3) 少子化対策の推進</p> <p>4 快適生活環境の実現 (安全で快適にくらせる「よろこび」づくり) (1) 人と環境にやさしいまちづくりの推進 (2) 快適生活環境の向上 (3) 生活安全体制の強化 (4) 都市基盤の整備 (5) 水資源の確保と安定供給 (6) 秩序ある土地利用の推進 (7) 中心市街地の活性化</p> <p>5 産業振興の促進 (豊かなくらしを支える「よろこび」づくり) (1) 農業・林業の振興 (2) 工業の振興 (3) 商業・サービス業の振興 (4) 観光の振興 (5) 労政の推進</p>

須賀川市総合計画 「新生すかがわ 2007」	須賀川市第 7 次総合計画 「須賀川市まちづくりビジョン 2013」
<p>2006 (H18) 年 12 月議決 目 標 市民のしあわせの実現 目標年次 2016 (H28) 年度 目標人口 10 万人 推計人口 83,500 人 基本理念 ・人間中心 ・生活優先 ・環境共生 ・地域尊重 将来都市像 「人・自然・地域が輝く臨空都市 すかがわ」</p>	<p>2012 (H24) 年 12 月策定 目標年次 2017 (H29) 年度 目標人口 8 万人 推計人口 76,396 人 基本理念 ・「市民との協働」による「市民自治」の推進 ・行政評価と連動したスピード感のある行政経営の推進 ・自然と共生した持続可能な循環型社会の推進 将来都市像 「共有、共感、共生へ ともに歩む自治都市 すかがわ」 ～先人の築いた市民自治の精神を現代に そして未来へ～</p>
<p>I 市民力集約のまちづくり (市民参画の推進) 1 市民の市政参画の推進 2 コミュニティづくりの推進 3 交流の推進 4 男女共同参画社会の形成</p> <p>II 生涯育むまちづくり (教育文化の向上) 1 幼児教育の推進 2 学校教育の推進 3 生涯学習・スポーツ活動の充実 4 青少年健全育成の推進 5 市民文化の向上</p> <p>III 心ふれあうまちづくり (保健福祉の充実) 1 地域福祉の推進 2 高齢者福祉の充実 3 児童福祉・少子化対策の充実 4 障がい者福祉の充実 5 低所得者福祉・母子(父子)福祉の充実 6 保健・医療の充実</p> <p>IV 安全安心なまちづくり (快適生活環境の実現) 1 持続可能な社会の確立 2 生活安全体制の強化 3 快適生活環境の向上 4 都市基盤の整備 5 中心市街地・地域拠点の活性化</p> <p>V 働きがいあるまちづくり (産業振興の促進) 1 農業・林業の振興 2 工業の振興 3 商業・サービス業の振興 4 観光の振興 5 雇用と労働者福祉の推進</p> <p>まちづくりを推進するために (行財政改革の推進) 1 行政制度改革の推進 2 健全な財政運営の維持</p>	<p>I ともに育み 1 明日を担う子どもの育成 2 生涯学習・スポーツの振興 3 文化の継承と振興</p> <p>II ともに支え 1 健康な暮らしの充実 2 市民福祉の向上</p> <p>III ともに暮らし 1 地域コミュニティづくりの推進 2 生活安全体制の強化 3 生活利便性の向上 4 住環境の充実</p> <p>IV ともに生き 1 自然との共生 2 環境にやさしい社会づくりの推進</p> <p>V ともに栄え 1 雇用環境の充実 2 農林業の振興 3 商工業の振興 4 観光・交流の推進</p> <p>計画の推進に当たって 1 市民との協働のまちづくりの推進 2 行財政改革の推進</p>

2011 (H23) 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、2012 (H24) 年 4 月からの期間を予定していた「市第 7 次総合計画」の策定を 1 年間延ばし、最優先かつ最重要な課題であった東日本大震災などによる甚大な被害からの復旧・復興に向けて、市民の皆さんと須賀川市の復興像を共有し、力を合わせて取り組むことを目的とした「須賀川市震災復興計画」を策定しました。

須賀川市第8次総合計画 「須賀川市まちづくりビジョン 2018」	須賀川市第9次総合計画 「須賀川市まちづくりビジョン 2023」
2017 (H29) 年 12 月議決 目標年次 2022 (R4) 年度 目標人口 7 万 6 千人 推計人口 75,892 人 将来都市像 「選ばれるまちへ ともに歩む自治都市 すかがわ」	2022 (R4) 年 12 月議決 目標年次 2027 (R9) 年度 目標人口 7 万 2 千人 推計人口 72,131 人 将来都市像 「共につくる 住み続けたいまち すかがわ」
<ol style="list-style-type: none"> 1 いきいきと人が輝くまちづくり <ol style="list-style-type: none"> (1) 子育て環境の充実 (2) 学校教育の推進 (3) 生涯学習の推進 (4) 生涯スポーツの推進 (5) 文化芸術の振興と継承 2 笑顔で健やかに暮らせるまちづくり <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域医療体制・制度の充実 (2) 健康づくりの推進 (3) 高齢者福祉の推進 (4) 障がい者福祉の推進 (5) 福祉ネットワークの推進 3 安全に安心して暮らせるまちづくり <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域コミュニティ活動の推進 (2) 防災・減災対策の推進 (3) 暮らしの安全対策の推進 (4) 公共交通網の充実 4 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり <ol style="list-style-type: none"> (1) 道路環境の整備 (2) 住環境整備の推進 (3) 水道水の安定供給 (4) 生活排水対策の推進 (5) 環境の保全と循環型社会の形成 5 活力とにぎわいあふれるまちづくり <ol style="list-style-type: none"> (1) 雇用の創出と雇用環境の充実 (2) 農林業の振興 (3) 商工業の振興 (4) 観光振興と交流促進 <p>計画実現のための行政経営の更なる推進</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 持続可能な行政経営の推進 (2) 効果的で効率的な事務の執行 (3) 開かれた行政の推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1 ひと <ol style="list-style-type: none"> (1) 子育て環境の充実 (2) 学校教育の充実 (3) 生涯学習・スポーツの推進 (4) 健康で安心して生活できる環境の充実 (5) ともに支えあう福祉社会の推進 2 暮らし <ol style="list-style-type: none"> (1) 防災・減災対策の推進 (2) 安全で安心な生活の推進 (3) 生活基盤の充実と循環型社会の形成 3 しごと <ol style="list-style-type: none"> (1) 雇用の創出と雇用環境の充実 (2) 農林業の振興 (3) 商工業の振興 4 まち <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域の宝の活用と交流の推進 (2) 市民協働によるまちづくりの推進 (3) 開かれた行政の推進

コラム 「わたしの 未来 ストーリー」

このストーリーは、市民ワークショップ、中学生ワークショップで出たアイデアや意見を参考に、市役所の若手職員による庁内ワークショップで作成した「10年後を想像した物語」です。

22歳の時、大学の卒業旅行で日本一周をした。いろいろなところでたくさんの思い出を作ったが、どうしても忘れられない場所ができた。それは、福島県の須賀川市だ。

先日、仕事場でパンをこねていて、生地が須賀川市の形に見えたときは仕事中でもかかわらず声を出して笑ってしまった。

写真を見ながら思い出を振り返っていたが、せっかくだし、また須賀川市に行ってみようと思いついた。

会社の夏休みを利用した9月の金曜日、午前中にはもう須賀川駅に着くことができた。昔は電車でのゆっくりとした旅行だったけど、新幹線を使うと結構あっという間に着くんだったというのが、須賀川に降り立った時の最初の感想。

10年前に来たときは駅からシェアサイクルを利用したけど、今は電動のキックボードが借りられるみたい。道路には専用レーンもあって安心して移動ができそう。まずは、荷物を置いて落ち着きたいと思い、早速拠点とする場所まで移動することにした。

今回の拠点は、風流のはじめ館という施設の前にある広場。コロナ禍だった10年前にキャンプブームがあって、いろんな所でキャンプができるようになったけれど、この場所はまちなかにも関わらずキャンプができる。キャンプは全くの初心者だけど、広場を管理

する民間団体からテント一式を借りることができて、さらに、設営のサポートも丁寧にしてもらえるみたい。まちなかなら夜も周りが明るく安心だろうと思い切ってチャレンジしてみることにした。

女性一人のキャンプだから、すこし不安ではあったけど、街灯以外にも自然エネルギーを利用した明かりが商店や住宅の前を照らしているから、安心して過ごせるし、散策もできた。すれ違った人が挨拶をしてくれるなんて、最近はなかったな。そういえば10年前も、こんな感じだったかも。

須賀川市だったら普段から住みやすいかもしれない。すぐに来られる距離だし、まずは二拠点生活から始めてみようかな。

そんなことを考えながら、テントの明かりを消した。



■ 須賀川市アクセスMAP



■ 須賀川市概要

須賀川市は、福島県のほぼ中央に位置し、北は郡山市、南東は石川郡、南西は岩瀬郡に隣接しています。西に那須連峰、東に阿武隈高地の山々に抱かれ、市内中心部を阿武隈川、釈迦堂川が流れる豊かな自然と穏やかな気候に恵まれたまちです。

市域は、東西に 37.9 km、南北に 16.5 kmの広がりを持ち、面積は 279.43 km² です。

須賀川市歌

作詞 菅野 陸郎
補作 勝 承夫
作曲 平井康三郎

一、山はさみどり 宇津峰の

空にかがやく 平和の光

みのり豊かに 産業興る

希望の都 意気の町

幸あれ永久に 須賀川市

二、春は愛宕に 花を賞で

秋は乙字に 紅葉をうたう

牡丹花咲き 松明燃ゆる

歴史の都 詩の町

讃えよ永久に 須賀川市

三、清き釈迦堂 阿武隈の

水も睦みて 集まるどころ

息吹新たに 躍進誓う

文化の都 自治の町

栄えよ永久に 須賀川市



須賀川市第9次総合計画 須賀川市まちづくりビジョン 2023

発行者：福島県須賀川市
〒962-8601 福島県須賀川市八幡町 135 番地
電話 0248-75-1111 (代表)
URL <https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/>
発行日：2023(R5)年 3 月



須賀川市公式WEBサイト

